

特集にあたって

1994年3月発行の本誌No.18において、レファレンスサービスを集めてから、20年が経ちました。この間に世の中の情報処理方法は大きく変わり、新しいレファレンスブックが次々と出版されました。また、20年前にはなかったWeb情報源など、今では当たり前に使っているレファレンスツールの出現もあります。しかし、レファレンスサービスに係わる者の心構えやインタビューの方法など、変わらないものもあります。そこで今号では、改めてレファレンスサービスについて、とりわけ子どもと子どもの本に関するレファレンスサービスについて考え、その重要性を再認識し、加えて、新たなレファレンスブックやWeb情報源などを紹介することを目的として特集しました。巻頭には、元東京都立図書館職員の杉山きく子様にご執筆をお願いしました。快くお受けいただきましたこと、この場を借りてお礼を申し上げます。

目次

- ・特集にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1p.
- ・すべての子どもはクローディア ―子どものレファレンスを考える―
元東京都立図書館職員 杉山きく子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2p.
- ・レファレンスに役立つ資料とWeb情報源の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7p.
- ・国際児童文学館イベント紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26p.
- ・平成26年1月～12月 児童サービス関係活動記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31p.
- ・おはなし会プログラム ～その4～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34p.